

たのだから、遅すぎる、とい
う批判もありますが、始めな
ければ始まりませんから一刻
も早く稼働して有効な対策を
打ち立ててもらいたいもので
す。しかし、これが生易しい
ことではないことは誰もが直
観的に理解しているのではな
いでしょうか。宗教法人の解散
や合併のマニュアル作りで終
わることのないよう願っています。

「県仏通信20号」の発行が遅
くなりましたことをまずお詫
び申し上げます。

各位にはますますご清祥に
てご接化、ご多端ご活躍のこ
とと敬意を表する次第です。

さて、県仏を預かってまも
なく2年になります。人生が
すべからくそうであるよう
に、過ぎてしまえば、あつと
いう間だったような気がしま
す。そんな2年間でさまざま
貴重な体験をいたしました。

畠中光享画伯の講演会(新
潟市仏教会の勉強会)、興福
寺の寺宝と畠中光享展(新潟
市新津美術館)、公益財団法
人全日本仏教会財団創立60周
年記念式典および第44回全
本佛教徒会議福島大会、世界
佛教徒会議日本大会、いのち、
愛・人権(阿賀野・糸魚川)展、
越佐にんげん学校など、その
たび考えさせられ、学ぶこと

でですが、皆さまに異存がな
ければもう一期2年を勤めた
いと思っております。

た会長の任期もこの3月末ま
でですが、皆さまに異存がな
いと思っております。

ところで、この2年間で県
内寺院が減少していく事象と
ご朱印に関して2回ずつ、新
聞社とテレビ局にインターネ
ッターを受け、そのうち1回
テレビに出演し、また顔写真
入りで新聞にも掲載されました。

地方の過疎によつて寺院が
減少していくことはマスコミ
にも度々取り上げられ、各宗
派内でも問題になつてゐるこ
とと存じます。私ども曹洞宗
でも、宗務庁に過疎地域等
における宗門寺院の問題に関
する対策準備室」があり、こ
れは近いうちに対策室に格上
げされ、本格的に動き始める
ようです。これに対しても、
10年以上も前からこのような
状況になることはわかつてい
たのだから、遅すぎる、とい
う批判もありますが、始めな
ければ始まりませんから一刻
も早く稼働して有効な対策を
打ち立ててもらいたいもので
す。しかし、これが生易しい
ことではないことは誰もが直
観的に理解しているのではな
いでしょうか。宗教法人の解散
や合併のマニュアル作りで終
わることのないよう願つて
います。

さて、人口減少というのは
地方に限つたことではなく、
でも人口が減り始めます。人
口減少は日本全体の大問題で
あり、周知の事実でもあります。
しかし、具体的にどのよ
うなことが起き、どのような
状況になるのか、私を含めど
れほどの人がイメージでき
いるでしょうか。

人口問題はじわじわと顕在
化してきます。水に入った力
エルは、徐々に熱せられると
水温の上昇に気づかず、ゆで
あがつてしまふといいます
が、それと同じです。あるいは、
その頃には私は生きてい
ないから、と思考停止で終わ
るのがオチかも知れません。
私も心のどこかでそのように
考えている節があります。

しかし、この後は一寺院、
一僧侶の努力で何とかなるよ
うな状況ではないのかも知れ
ません。また、私のような年
代の者は隠居するか、そもそも
この世にはいないと思いま
す。

したがつて、今こそ若い力
が必要です。三十代、四十年
の僧侶に研鑽と活躍の場を与
えることが重要であり、私た
ちの、また県仏の役割の一つ
でもあると考えます。微力な
がら、あと二年精進してまい
る所存でございますので、ご協
力ご指導のほどお願い申
し上げます。

県仏通信

第20号

新潟県仏教会会報
平成31年3月20日発行
発行人・編集人 寺崎敬道
会務局長 山口智史
事務局〒957-0055
新発田市諒訪町2-4-17宝光寺
TEL 0254-22-4376
FAX 0254-20-7943
postmaster@hokoji.net

つながるおもい、

つたえるこころ。
よし うん

本社 新潟市南区戸頭1347-1 TEL 025(372)1138(代)

www.yoshiundo.co.jp

寺院用具 | お仏壇 | 墓石



・22店舗ネットワーク
・専門資格保有数237名

11月5日から9日まで、第29回世界仏教徒連盟(WFB)世界仏教徒会議日本大会が開催されました。この大会は、全日本仏教会の財団創立60周年記念事業の一環として開催されたものです。ちなみに、WFB大会の日本開催は今回で4回目のことです。



昨年11月5日から9日まで、第29回世界仏教徒連盟(WFB)世界仏教徒会議日本大会が開催されました。この大会は、全日本仏教会の財団創立60周年記念事業の一環として開催されたものです。ちなみに、WFB大会の日本開催は今回で4回目のことです。

昨年11月5日から9日まで、第29回世界仏教徒連盟(WFB)世界仏教徒会議日本大会が開催されました。この大会は、全日本仏教会の財団創立60周年記念事業の一環として開催されたものです。ちなみに、WFB大会の日本開催は今回で4回目のことです。

ンポジウムがおこなわれました。

本会からは最終日の法要とシンポジウムに会長と事務局長の山口智史が参加いたしました。

午前中に大祖堂において、全日仏会長の總持寺

日本大会・世界平和祈願法要

会長 寺崎 敬道



Arkbell

伝えたい想い 伝わるご葬儀

ご葬儀はアーケベルのセレモニー

ご葬儀は365日24時間対応

アーケベルのセレモニー

検索

貫首江川辰三猊下導師のもと、大般若会(転読大般若)が厳修され、世界平和が祈願されました。

午後からは三松閣において、シンポジウムが開催されました。

まず、「生死の中に見出す希望」というテーマのもと、ジョアン・ハリファックス師が「いま求められる、『智慧にもとづく希望』とは」と題して基調講演をおこないました。師は禅僧であり、文化人類学者、そして終末期ケアの先駆者でおられるとのことであります。

師は冒頭で唐代の禅僧鴻山靈祐(771-853)とその師匠の百丈懷海の問答を紹介されました。

火はない鴻山が断じたいろいろの中から百丈は残り火を掘り出し、それを見て鴻山がさとつた、というエピソードです。

反戦運動や公民権運動、14年間の自殺念慮者や自

一人目は、根本紹徹師。そして、この「智慧にもとづく希望」は個人の意識を変え、社会を変革していくのだ、ということをこの講演から学びました。

基調講演の後、二人の禅僧がスピーチをしました。

欲求や苦しみから自己を解放し他に広げること、これは誓願によつて生きることであり、これこそが「智慧にもとづく希望」である。

鴻山の人生は無限に広がつた。

医療従事者の訓練などは、このエピソードのようないつながらはわからぬ。しかし、変わることを信じ、「智慧にもとづく希望」を持ち続けやり続けることを信じ、何かできるこ

とを伝え、そこで得たことを伝えてくださいました。

二人目は、久間泰弘師。東日本大震災の被災地で災害復興ボランティア活動・コーディネートをおこなつてこられました。特に、被災地のこどもたちの現状—自死、いじめ、望まない妊娠など—について述べられ、震災はまだ終わつておらず、

スネ・タナカ師による上記の講演に対するコメントを皮切りに、講演をおこなつた三師のコメントが続き、タナカ師が締めくくつてシンポジウムが終了しました。



鈴木佛壇店

お仏壇・墓石
供養用具・記念碑

白根本店 新潟市南区白根日の出町 10-8 TEL.025-373-4155

墓石展示場 新潟市西区小針4丁目5-13 TEL.025-233-3135

五泉店 五泉市栗島 634-4 TEL.0250-47-3668

新潟小針店 新潟市西区小針4丁目5-13 TEL.025-233-3135

長岡店 長岡市古正寺3丁目107番地 TEL.0258-29-6400

仏壇工場 新潟市南区白根日の出町 10-8 TEL.025-373-3636

石材工場 新潟市南区茨曽根 216-1 TEL.0120-333-721

www.suzukibutsudan.co.jp/ 鈴木佛壇店 検索

佛教界随一の団参専門機関

新潟ビーエス観光

SHOKO TOURS

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3丁目12-4
TEL 0258(34)4848 FAX 0258(34)0227
ホームページ <http://niigata.bs-group.jp/>
E-mail niigata.b.s@jeans.ocn.ne.jp

- ◆ 越後三十三観音靈場巡拝の旅
- ◆ インド仏跡巡拝の旅
- ◆ スリランカの旅
- ◆ 四国八十八ヶ所靈場巡拝の旅
- ◆ 西国三十三観音靈場巡拝の旅
- ◆ 坂東三十三観音靈場巡拝の旅

不要に人を傷つけない智恵を身につけていくことが必要と結ばれました。

最後に、戸松義晴師(全

越後にんげん学校

優生保護法問題から 考える差別の構造

(敬和学園大学教授藤野豊氏、
新潟市北区文化会館、
平成30年6月28日)

事務局 青木 泰洋

優生保護法問題とは、旧優生保護法(1948～1999)のもので障害者への強制不妊手術が行われていた問題である。旧優生保護法(第一条)に「優生上の見地から、不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命・健康を保護することを目的とする」とあります。つまり、優生思想をもつた法律でした。障害者やハンセン病患者に、中絶や不妊手術をさせる条文があり、いわば人権を侵害する法律なのです。

「優生思想」とは、障害の有無や人種などを基準に人に優劣をつけようとする思想で、この思想を持つた法律が五十年近くも存在し最近まであります。

「優生保護法問題」とは、旧優生保護法(1948～1999)のもので障害者への強制不妊手術が行われていた問題である。旧優生保護法(第一条)に「優生上の見地から、不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命・健康を保護することを目的とする」とあります。つまり、優生思想をもつた法律でした。障害者やハンセン病患者に、中絶や不妊手術をさせる条文があり、いわば人権を侵害する法律なのです。

これまで沢山の差別がありました。未来はどうなるのでしょうか？差別は残つたままであります。差別を解消させるにはまず学ぶことが必要です、そして反省から次に行うことを考える。それをするのには私たちであり私たちが未 来を変えていく必要があると思います。あらゆる差別や偏見が無くなるように。

講演者、藤野豊先生には優生保護法の歴史、背景、現状をお話しいただき、差別の構造、問題点をわかりやすく教えていただきました。「障害を持つて生まれたら不幸」「障害は遺伝する」というような偏見が優生思想の影響からうまれ、今も根深く残っている現状、優生保護法が広く社会に与えた影響、差別の構造を勉強する機会となりました。

事務局 本田 義昌

「部落差別から 生じる結婚差別」 を拝聴して

今年四十二歳になる私も小さい頃には「部落差別をなくそう！」という看板を見たことはあるが、詳しく内容が分からずに、この歳まで来てしまった。私自身「かつてはあつた話なのだろうなあ」としか認識していなかつたのが正直なところでした。

ですが講師の西山先生は私が経験された部落差別における「結婚差別」を拝聴した。

西山先生が「この人」と感じた男性と結婚寸前にまで発展

したものの婚約者の男性のご両親のお宅へ挨拶に伺つたところ何だかぎこちなく、その後、大好きな彼は結婚の意識を身に付けることが我々には必要でしょう。

これまで沢山の差別がありました。未来はどうなるのでしょうか？差別は残つたままであります。差別を解消させるにはまず学ぶことが必要です、そして反省から次に行うことを考える。それをするのには私たちであり私たちが未 来を変えていく必要があると思います。あらゆる差別や偏見が無くなるように。

社寺、一般屋根工事請負
いらか
有限公司 菩 菩 工 業

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田6099
TEL(0250)68-7100 FAX(0250)68-7111

瓦の美しさを出せる
工事店です。
本掛け、本瓦、棟瓦葺き、
棟は京風、奈風、
ご要望に応じます。

私も大学を卒業し自坊に戻つて来ていた平成十二年のこと。今から約二十年前の話ではあるが、平成の世の中であり、ついこの間の話もある。またこの差別問題は水面下で動く話である性質上、現在でも存在しているかも知れない話でもあると感じさせられた。

「昔前の話でしょ?」と簡単に済む話でもない。私自身も過去の恋愛で相手の御両親に「結婚をさせて下さい」とご挨拶に伺つたところ『普通の方になら、どうぞもらって下さいとお願ひするが坊主には娘はやれない』と言われた経験がある。それでも諦めずに二人で頑張った記憶がある。

お相手の女性の方は、実の両親に面と向かつて立ち向かうのだから胸が苦しかったことだろう。本当は一番に賛成して欲しかった筈の御両親に反対され成すすべも無く結局は破局した経験があった。同じような経験があるからこそ他人事とは思えず「我が

「他人事では物事は進まない。」我が事にならずには解決の糸口さえも見つからない。西山先生の最後の結論と同

事』として拝聴させられた。何事もそうだとと思うが「他人事では物事は進まない。」我が事にならずには解決の糸口さえも見つからない。西山先生の最後の結論と同

事』として拝聴させられた。何事もそうだとと思うが「他人事では物事は進まない。」我が事にならずには解決の糸口さえも見つからない。西山先生の最後の結論と同

とによって今現在(この瞬間)は変わらずとも、この先の未来には自らが進むべく方向、最も良い方向にお導きを頂けるように今は頑張るしか手立てはない。」

西山先生も一旦は「引き籠り」になつてしまわれたそうだが、同じような経験をした

友達と意見交換。「こんなことで苦しむ人を少しでも減らす為の活動をしよう」と組合を発足。現在に至るが、実はここに行き着く活動も「活動する時点」で「あそこの部落の娘が生意気にこんなこと言つていたぞ!」と先生のご家族も差別の攻撃を受けていたそうだ。つまり相当な覚悟と勇気と決意が必要だ。

ういした問題はデリケートな部分なので見えて来ないのかかもしれない。だが皆が意識を持つ、すぐにでも「部落差別などくだらない問題」とも気づくのではないかと考える。

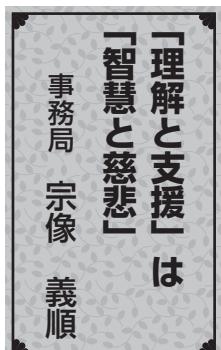
「過去の経験があるからこそ、今現実に生かせる。」我々も「自分の足元を省みること」が何かの問題に直面した時に、より親身に、そして僧侶としての対応が備わり、傷ついた心を持つ人の救いになれるのではないかと考えさせられた。

まずは興味をもつて知ることを念頭に進んでいきたいと思う。

角田さんのお話の中で私が印象に残ったのは、「『支援』ではなく『理解』を」という言葉です。角田さんの様々な支援活動の裏には、当然ながら障害に対する深い理解があります。発達障害とはどういう障害なのか?どういうことが出来なくて、どういうことが出来るのか?出来ないことを補うためには、どのような教育や訓練が必要なのか?例えば、就労するにあたり問題となるのが、仕事中に自分の判断で「選べない」「決められない」「予測できない」ということ。そこを補うために、

P.O法人にいがた・オーティズム理事長をお務めの角田さんは、発達障害を持つ方たちへの様々な支援活動をされています平成22年「年に地域活動支援センタ「スタンバイ」を開所、その後には就労移行支援へ体系移行され、現在のワーキングサポートセンター「スタンバイ」へとなりました。

角田さんのお話の中で私が印象に残ったのは、「『支援』ではなく『理解』を」という言葉です。角田さんの様々な支援活動の裏には、当然ながら障害に対する深い理解があります。発達障害とはどういう障害なのか?どういうことが出来なくて、どういうことが出来るのか?出来ないことを補うためには、どのような教育や訓練が必要なのか?例えば、就労するにあたり問題となるのが、仕事中に自分の判断で「選べない」「決められない」「予測できない」ということ。そこを補うために、



昨年の10月16日、新発田市生涯学習センターにて、角田千里さんの御講演を聴いて参りました。演題は、「発達障害を持つ方たちの就労」スタンバイの取り組み」。認定N

部落差別の問題は落ち着いているのか?いないのか?皆が親身にならなければ、こ

県内唯一の伝統継承

本地・彫・金具・塗・蒔絵
お仏壇全工程自社製作



福 宝

本社/新潟市南区根岸 1511 TEL 025-362-1658(代)



■経済産業省公認 石匠位認定店

■1級お墓ディレクター 16名 (県内No.1)

■2級お墓ディレクター 122名 (県内No.1)

■仏事コーディネーター 102名 (県内No.1)

う「枠組」、終わつたら次は何があるかといふ「見通し」、これら的情報をしつかり伝え、環境を作つてあげることが大切であるとのこと。正しい理解があればこそ、何が必要であるかが分かり、的確な支援が出来るのだと思いました。

これは、仏教では「智慧」と「慈悲」の関係にあたるでしょうか。自我を中心としない正しい見方(智慧)が生まれると、自ずと与樂抜苦の思い(慈悲)も生まれる。智慧に基づいた慈悲であり、理解に基づいた支援であるのだと感じました。自分の無知さを含め、多くの学びがあつた大変貴重なお話であります。ありがとうございました。

第33回 人権啓発研究集会

事務局 関根 正隆

2月6日、7日に人権啓発研究集会が新潟市で開催されました。私は県仏教会の事務局として参加をさせていただきました。

会場は朱鷺メッセの展示ホール。有名なアーティストのコンサートも開かれる大きな会場でした。当日は2600名程の人でほぼ満席。県外からも2000人近い参加があつたそうです。オープニングセレモニーでは、伝統芸能の佐渡の春駒(はりこま)が演じられ、続いて、部落解放同盟新潟県連合執行会長の長谷川均さんのお話がありました。長谷川さんは新潟の解放同盟の歴史と新潟県の現状などが語られました。そして、憲法学者の木村草太先生(首都大学東京教授)の講演がありました。報道ステーションなどでもコメントーターとして登場される木村草太教授は、「憲法の未来」と題して、各国の憲法と日本国憲法の比較や、人権や権利と義務について、とても明確にかつ分かりやすく講演されました。「不平等」と「差別」の違いなど、普段何気に使っている言葉の示す意味の違いなど、端的に教えていただけた講演でした。

翌日は、新潟水俣病やハンセン病問題など様々な差別問題が分科会の形をとつて、新潟市の各会場で開催されました。私は1日目だけの参加でしたが、とても有意義な時間をいただきました。

①現在の担当医の証明によつて認定を可能にする法改正

②既存の制度で救済を受けられない患者を対象とする医療費助成制度の創設・拡充

③早期に取得・適用ができる障害者手帳の運用改善

④C型肝炎についての教育・啓発

「命を守るC型肝炎新潟の会」(佐藤つな子代表)は昨年設立10年を迎えました。この会は、過去に使われた血液製剤などからC型肝炎に感染したとする患者の会で、約80人が在籍しています。C型肝炎は感染から10年以上経過してから発症する病気上経過してから発症する病気であるにもかかわらず、カルテの保存義務が5年間であるため、発症時にはカルテのない患者が多いのです。現行法では汚染された血液製剤の投与を立証することが求められており、いまだに多くの患者が対象になつていません。

そのためこの会では、正会員(治療でウイルスが消えた人を含むC型肝炎患者)、準会員(C型肝炎患者の家族または遺族)、賛助会員(会の目的に賛同する人)を募集しています。〈問い合わせ〉佐藤代表 080-2040-0068

寺院用仏具・仏壇・墓石・製造修復販売



株式会社

放光

● 本社・工場 〒940-0825 新潟県長岡市高畠町 617
TEL 0258 (33) 5644

● 長岡ギャラリー 0120-505-560
● 新潟店 0800-888-9872

花まつりデザイン大賞作品をポスター・絵はがき化！
みんなで飾って・送ってお祝いしよう♪

花まつりポスター・絵はがき頒布開始

全日本仏教会では、お釈迦さまのお誕生日や「花まつり」を知っていただくために、ポスターと絵はがきを頒布しています。今回も一般公募による作品を使用し、ポスターと絵はがきを作成いたしました。

華やかで色とりどりの作品が、お釈迦さまのお誕生日を盛大にお祝いしています。

寺院や地域で開催される「花まつり」や春のイベント告知に活用していただき、また、お祝いや春のご挨拶、日ごろの感謝を伝えるツールとしてご使用ください。少数でもお気軽にご注文ください！



花まつりポスター大賞(左)
「花まつり」



花まつりポスター全仏版(右)
「国宝 誕生釈迦仏立像」(東大寺蔵)

花まつり絵はがき大賞作品

「微笑みの華」(左) 「みんなの花まつり」(中央) 「おてんとうさまとおしゃかさま」(右)

■ポスター■ ○サイズ
○ポスター代金

A2サイズ(縦 59.4 cm × 横 42 cm)
各種 50円/1枚 (別途、送料が必要です)

■絵はがき■ ○サイズ
○絵はがき代金

両観音折本(3枚1組)
無料 (別途、送料が必要です)

お申し込み・詳細は web をご確認ください。

<http://www.jbf.ne.jp/activity/2510/3482/3728.html>



◆問い合わせ◆ 公益財団法人 全日本仏教会 広報文化部 03-3437-9275

創ることにこだわり続ける廣川だから
お客様と世代を越えて
おつきあいさせていただきます。

◎全宗協加盟・仏壇公正取引協議会会員・仏匠会会員 JAご指定

金仏壇製造元 | 御家庭之尊嚴 | 寺院用荘嚴具・仏具取扱

お仏壇と墓石の **廣川**

◆本社ショールーム
〒940-2035 長岡市関原町5丁目5番地
☎0258-46-2020(代)

◆上越店
☎025-525-6660(代)

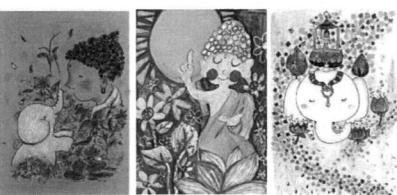
◆小出店
☎025-792-8424(代)
◆墓石展示場
☎0258-47-2010

2019年花まつりポスター・絵はがき申込用紙

2019

FAX番号:03-3437-3260

1.ポスター(A2サイズ)・絵はがき(3枚1組)申込枚数 (※注文されないものには、「0」とご記入ください)

1:花まつり(50円) 	2:国宝 誕生釈迦仏立像(50円) 	ポスター 合計枚数	花まつり絵はがき(両観音折本)(無料) 
枚	枚	枚	枚

2.ご購入者様情報 (※は必須項目です)

フリガナ			
※お名前	(団体でのお申込みの場合は、ご担当者名もご記入ください)		
※送付先住所	〒 -		
※ご連絡先	TEL:	FAX:	
備考	請求書及び払込用紙送付希望先・配達希望日などございましたら、ご記入ください		

※請求書及び払込用紙(郵便局)は、ポスター・絵はがきとは別に後日「送付先住所」へ送付いたします。

※領収書は払込用紙(郵便局)受領書をもってかえさせていただきます。

※「ご連絡先番号」内TEL欄には、日中に連絡が可能な電話番号をご記入ください。

※本情報は、ポスター・絵はがき発送業務にのみに使用します。

※荷物送付について、受付の時間(午前・午後)によって、発送に時間をする場合がございます。

あらかじめご了承ください。

本会記入欄

No	受付	転送	担当

公益財団法人
全日本仏教会
WFB(世界仏教徒連盟)日本センター



<本件に関するお問い合わせ>

(公財)全日本仏教会 広報文化部
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階
TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

仏壇・墓石・みこし

TOAトーア

0120-00-1930

長岡本店(0258)28-1930
長岡中央店(0258)33-1930

本社／新潟県長岡市寺島817

新潟県庁前店(025)288-1930
上越店(025)522-0139

中之島工場(0258)66-5193
南魚沼店(025)772-8193